

Pastor J.D. Farag 2019 10.6
希望を失わないで！（第一 テサロニケの手紙 1章1～3節）

<https://www.youtube.com/watch?v=zy4jAjZiHm0>

第一テサロニケ1章1節から3節です。もし可能ならばお立ちになって、読むのについて来てください。無理であれば座ったままで大丈夫です。使徒パウロはテサロニケにある教会に向けて手紙を書いており、聖霊によってこう言っています。1節から。

第一テサロニケ1

1 パウロ、シルワノ、テモテから、父なる神および、主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。恵みと平安があなたがたの上にありますように。

恵みと平安は、ある人が言ったように、体の結合した双生児のようです。パウロはいつも、このように彼の手紙を始めるのです。興味深いのはこの順序で、それはこの順序であるべきなのです。なぜなら、まず初めに神の恵みを受ける側に立つことなしに、神の平安を持つことは出来ないからです。だから、“恵みと平安”なのです。では、2節です。

第一テサロニケ1

2 私たちは、あなたがたのことを覚えて祈るとき、あなたがたすべてについて、いつも神に感謝しています。

3 私たちの父なる神の御前に、あなたがたの信仰から出た働きと、愛から生まれた労苦、私たちの主イエス・キリストへの望みに支えられた忍耐を、絶えず思い起こしているからです。

一緒に祈りましょう。愛なる天のお父様。私達は、あなたの言葉に感謝します。

あなたの御言葉のうち、今日私たちが始めるこの新しい書を感謝します。

主よ、あなただけにできることですから、あなたがいつも誠実にそうしてくださるように、あなたの御言葉を通して、私達の人生に語ってください。そして、あなたがそうしてくださる際、私たちはあなたの御言葉に全神経を集中したいと思います。主よ、語ってください。あなたのしもべは聞いています。イエスの御名によって、アーメン。

どうぞお座りください。

今日の私のメッセージは、希望について、希望のメッセージです。これは特に、とても困難な試練の中にいて、希望を失いかけてしまっている人々へのメッセージです。この第一テサロニケの始めの3節だけを使って、パウロは、戦い疲れたと見える教会を励ましているのです。その当時、彼らが経験していた迫害のためです。しかし彼は、望みが彼らの忍耐を支えることに関して、彼らを励ましているのです。特に、この3語に留意してください。“hope inspires endurance/ 望みが忍耐を支える”この3語です。これが、私が今日お話ししたい事です。

この手紙は、読んでいくと、とても興味深いものであることが分かってきますが、その内容に取り掛かる前に、この手紙が書かれるに至った背景を、少し伝えた方が良いでしょう。

まず、使徒パウロがテサロニケに滞在した期間は、たった3週間であったと信じられています。彼がこの教会を始め、テサロニケにこの教会を建てた時です。彼は3回の安息日の期間、つまり3週間そこにいたという事が、使徒の働きに書かれています。また、使徒の働きには、彼が実際に町から追い出されたと書かれています。これは、彼が3週間ほどしかそこに居なかった、理由の一つかも知れません。彼は、奇跡的に牢獄から解放された後に、ピリピでこの手紙を書きます。そしてまた、これは使徒パウロが聖霊によって書いた一番初めの手紙

だと信じられているのです。この、テサロニケの人々に書かれた手紙がそうです。そして今日、それは、新約聖書の書簡として知られています。パウロは、シルワノとテモテの訪問を受けて、聖霊に示されてこの手紙を書いています。この2人は、パウロがまだコリントにいる時に、テサロニケから戻って来たばかりでした。それがパウロの要請によるものだったと言う人たちもいます。彼は教会の状況を知りたかったからだ。なのでパウロは手紙を書きます。彼はとても励まされたので、彼らも励ましたいと思っています。なぜなら、彼らは困窮、困難、迫害にもかかわらず、よく頑張っていたからです。これが、この最初の手紙の要点です。この手紙のパウロの書き出し方について、私の目についたのは 彼が、信仰、愛、希望という3つを、この順番で述べている事です。これは、彼が、「信仰、希望、愛、この中で一番優れているのは愛です」とコリントに書いたものとは違うのです。テサロニケの人々には、彼はこの順番で言っています。「信仰、愛、希望」そこで、どうしてか？という疑問が出て来ます。私が思うに、その答えは、パウロが「希望」を最後にあげるの、彼らの希望が、信仰と愛によって耐え抜くために彼らを支えていたからです。この理由の為に、私は「希望」から始めたいと思います。その後で、逆に戻っていきます。なぜなら、パウロが言うには、彼らの忍耐を支えたのは望みだったからです。私はそれをひっくり返して、これから私たちに分かってくるように、望みが忍耐を支えているだけでなく、忍耐も望みを支えていると言わせてもらいます。別の言い方でいうと、望みとは、私たちに忍耐を与えるものであり、忍耐とは、私たちが前進するための望みを与えるものである。望みは忍耐を支え、それは続いて、労苦を促す愛へと導き、行いを伴う信仰へと導く。言い換えると、忍耐を支える望みは、試練を耐え抜くための希望を生み出す試練から来るのです。今のを皆さんに理解してもらえた事を願います。これが、私に出来る最善の言い方ですから。もしかしたら、こう言った方がよいかもしれません。望みは、私たちが試練を耐えている時に来るのです。そして、私たちが試練に耐える時に、私たちは、その試練を耐え抜くために必要な望みを持つようになるのです。これは、パウロがローマ5章で言っている事です。1節から5節を聞いてください。

ローマ5

1 こうして、私たちは信仰によって義と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。

2このキリストによって私たちは、信仰によって、今立っているこの恵みに導き入れられました。そして、神の栄光にあずかる望みを喜んでいます。

3 それだけでなく、苦難さえも喜んでいます。

私たちは喜んでいますか？ ーはい、喜んでいます。なぜか？ どうして、そんなことが可能なのか？ なぜなら...

ローマ5

3 それは、苦難が忍耐を生み出し

4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。

そういう仕組みなのです。これが、苦難の生み出すものです。苦難、試練、痛み、困難は、忍耐を生み出します。それは、続いて、ねられた品性を生み出し、それは、続いて、希望を生み出すのです。そしてパウロはこう言っています。「この希望は失望に終わることがありません。」言い換えると、私たちは決して失望しない。これが理由です。

ローマ5:5

なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

皆さんが、これに気づかれているか分かりませんが、これらの始めの3節は、あらゆる牧師が教えたいと夢見る箇所です。なぜなら、これは3つのポイントで構成されていて、皆さんに伝えるのがとても簡単だからです。希

望は忍耐を生み出し、愛は労苦を生み出すものであり、信仰が、行ないを支えて生み出すものです。また、パウロがこう言っているのにも注目してください。

「愛は労苦を促す」ここで、理解すべき重要な事は、パウロがここで使っている言葉「労苦」は、「疲れ切るほどの努力」という意味合いを伴っています。そして明らかにこれが、彼がテサロニケのクリスチャン達を称賛している事なのです。言い換えると、私たちが、このように愛する時、どれほど重い重荷であるかに関わらず私たちは、この愛によって、忍耐するべく促され、駆り立てられるのです。時には、重荷はとても重いことがあります。しかし、私たちに強いるのは愛で、私たちが駆り立てるのは愛です。私たちが、その神から来る愛のゆえにのみ行なうことをするために。その源が神からであるので、それは、他の人々へと流れていくのです。

ホーリーズのあの有名な歌を覚えていますか？♪彼を背負うのは重くない、彼は僕の兄弟だから♪歌が下手ですみません... 往年の名曲です。どうしてこの曲が作られたか、知っていますか？ 1884年、ジェームズ・ウェルズという、スコットランド合同自由教会の議長は、その著書「イエスのたとえ話」の中で、大きな男の子を抱っこしている小さな女の子の話をしています。彼女の苦闘を見て、誰かが彼女に疲れていないのかと聞きくと、彼女は驚いて、答えました。「いいえ、彼は重くないわ。私の兄弟なのよ！」その後、1940年代に、その題名は、ボーイズタウン（「少年の町」児童自立支援施設）のモデルとなりました。それは1917年に設立された共同体で、問題を抱えた少年たちやホームレスの少年たちが助けを求めて行く場所でした。1969年11月にホーリーズは、今やこの往年の名曲となった、その題名の曲の入ったアルバムをリリースしました。要点はここです。あなたがこのように愛する時、重すぎる重荷はないのです。なぜなら愛は、労苦を促すものだからです。よく考えてみると、私たちが行なうことには、主のためでないなら、私たちは絶対にしないだろうというものがあります。その愛がなかったとしたら。

では、3つ目に行きましょう。

私たちはこれらすべてが一巡して元の場所に戻って来るのが分かります。パウロが、「信仰の働き」と言っているところです。これは興味深いですね。これはなんか、初めて読んだ時、矛盾したように聞こえますか？「信仰」「行い（働き）」？ 私たちは恵のゆえに、信仰によって救われました。行いによってではありません。誰も誇る事の無いためです。しかしここで、パウロは、彼らの信仰が行いを生み出したと言っています。では、どうやって、矛盾に聞こえるこれを、調和させるのか。ヤコブ2章18節です。ヤコブが言う事を聞いてください。

ヤコブ2

18 さらに、こう言う人もあるでしょう。『あなたは信仰を持っているが、私は行ないを持っています。行いのないあなたの信仰を私に見せてください。私は行いによって、私の信仰をあなたに見せてあげます。』はい。ヨハネの福音書6章28節で、イエスは弟子たちから、とても興味深い質問を受けられました。

ヨハネ6

28 すると彼らはイエスに言った。『神のわざを行うためには、何をすべきでしょうか。』29節での、イエスの答えを聞いてください。

ヨハネ6

29 イエスは答えられた。一準備は良いですか？

29 「神を遣わした者を信じる事、それが神のわざです」

これが行い（働き）です。これが信仰による働きです。信仰の結果とは、「ただ信じる事」

これが神のわざなのです。これが、パウロがここで言っている 行い（働き）なのです。火曜日の夜、私たちは祈り会をしました。共に力のある時間を過ごしました。主が、使徒の働き27章から話すようにと、私の心に強く語られました。使徒パウロがローマへ向かう船に乗っていたところです。ルカと一緒にいました。ルカは実話にこの今一度起こった難波を記述しています。ただ、この時は違いました。この時ルカが書いているのは、船に乗っている自分とパウロと、全ての人が、

「ついに、私たちの全ての望みは絶たれた。」と。 **（使徒の働き27:20）** パウロでさえも。

彼は以前にも難破したことがあったのです。これは彼にとって初めての難破ではなかったのです。彼は以前にも、同じ経験があるのです。こういう事は良く知っているのです。しかし、この嵐はかなり強烈で、この話の詳細には、この嵐は何日間も荒狂っていたと書かれています。容赦なく、弱まる事なく、静まる事がない。そして、彼らには進む道も見えませんでした。何日間も過ぎ、彼らには夜の星も月も見えませんでした。当時はそれによって、航海していました。彼らは日中の間、太陽も見えませんでした。それはただ暗い雲から大雨が打ち付け、荒れ狂う嵐が、何日も続いたのです。興味深い事に、ついに... 全ての人が、その嵐から生き抜く望みを失っていた。「しかし、神は...」 私は、この2語が大好きです。なぜなら、これが全てを変えるからです。神がした事はこれです。神はパウロの元に、御使いを現されました。これは、彼らが望みを失い、時間の問題だ、これで終わりだと思った後の事です。主の御使いがパウロの前に現れて、彼に思い出させたのです。なぜなら、明らかに彼は忘れていたからです。使徒の働きで（訳注：23章11節）、パウロはローマへ行くと言っていたのです。神が彼に語り、神が彼に言質を与えられたのです。

「あなたはローマへ行く。」 明らかに、この嵐はあまりにも激しくて、パウロは、ローマに到着するという希望を失っていたのです。なので、御使いがパウロに思い出させる為に送られました。

「パウロ。恐れることはない。」 主の御使いがパウロにこう言ったのは、興味深いです。

なぜなら、これが何を言っているかということ、パウロがとても恐れていたという事です。私たちが話しているのは、パウロの事ですね？ ひるむことのない大胆不敵さ。これは使徒パウロです。それが、私の想像するパウロです。私の想像する彼は、前進し続け、神聖な意味で、威圧的な感じですが、使徒パウロが部屋に入ってくると、皆が彼だとすぐに分かるくらい。それがパウロでした。しかしパウロでさえ... 恐れに引き込まれ、全ての望みを失うような状況にいたのです。なので彼は、神が彼に与えた約束を 思い出させなければならなかったのです。神が彼に与えた言葉を。

「パウロ、あなたはローマへ行くんだよ。覚えてる？」 「あなたは今も、この約束を信じているか？」

「はい、信じます。私がこのように言った理由は、なぜなら、時に、私たちは思い出させてもらわなくてはいけないことがあると思うからです。私たちはただ、神の言葉と神の約束を、思い出させてもらう必要があるのです。」

私たちが人生の嵐の最中に居て、私たちが望みを諦めやすい時... ところで、望みを失うと、それと共に、耐え抜く能力がなくなります。もし、望みがなくなってしまうと、試練を忍耐する力もなくなってしまうのです。だからこそ、望みを絶対に失わない事は、とても重要な事です。ところで、神は私たちに責めたりしません。落ち込み、失望している人に、イエスが叱責をしている記述は、福音書の中のどこにもありません。オズワルド・チェンバースはこう言いました。「神は決して失望している人を責めない。」 新約書簡には、パウロが人生に絶望する箇所もあります。彼は、その人生において、人生そのものを諦めるといふ所にまで来たのです。旧約聖書のいたるところでも、何度も何度も見られます。男性でも、女性でも、力強く神に使われた人たちが、絶望、恐れ、失望に襲われるんです。

そこで、パウロに御使いが現れ、彼の望みを新たにしました。なぜなら、パウロは望みをすっかり失い、嵐を生き抜く全ての望みを失っていたからです。そして、御使いはパウロにこう言ったのです。

「パウロ、私はあなたが助かるのを知っている。」 「船は助からないが。」 「しかし、あなたは生き残り、神

は恵みをもって、あなたと共に同船している者達もすべてあなたに与えており、彼らも助かる。」

「その船は座礁する。私は前もって、あなたにこの事は告げなかったが。」

「しかし、パウロ。私はあなたがローマへ向かう途中で、マルタ島に立ち寄って欲しかったのだ。」

「なぜならそこには、救われる地元の人々がたくさんいるから。」

「だから私は、この船を難破させて、あなたをマルタ島へと迂回させなければならなかった。」

これは本当に面白い、核心を突く記述です。私は本当に、使徒の働き27-28章を読むように、皆さんに勧めます。この素晴らしい書の最後の2章です。御使いがパウロに現れ、彼に思い出させ、実質的に彼にこう言います。「ただ、信じなさい。」パウロの望みは新たにされました。

詩編27編13節から14節は、実際に、私にとって人生の聖句です。これは、私たちの娘ノエルが亡くなった時に、神が私に与えて下さった箇所です。皆さんにシェアしたいと思います。ダビデによって書かれています。13節から。

詩編27編

13 もしも、私が、生ける者の地で主のいつくしみを見ると「信じて」いなかったなら――。

これは、天のこちら側の事です。これは、私たちの望みが永遠の中には無いと言っているのではなく、望みはある、望みを失うなどと言っているのです。神は良いものをもたらし、天のこちら側でも、あなたは主の良さを見ると。ただ待ちなさい、と。彼はそう言っているのです。

14 待ち望め 主を。雄々しくあれ。心を強くせよ。待ち望め 主を。

「主を待ち望みなさい。」ダビデもです。おもしろいです。私たちは、詩編の学びを終えましたが、実際、詩編を学ぶのに、1年と2か月かかりました。しかし、詩篇の最初から最後まで、私たちは、最も甘美なイスラエルの詩人ダビデ、ダビデ王によって書かれた詩を読みます。ダビデにも、約束がありました。彼は油注がれた王でした。神は彼に、イスラエルの王になると約束したのです。しかし、詩編を読むと、彼もまた、全ての望みを失ったように見えます。そして、もはや、神からの約束を信じていなかったように思えます。なぜなら、彼は詩編の中で、サウロの手によって、自分は死ぬだろうと書いてるからです。

「ちょっと待ちなさい、ダビデ。あなたは死なない。」「ちょっと待ちなさい、パウロ。あなたは海で死ぬ事はない。あなたはローマへ行かなければならない。」「ちょっと待ちなさい、ダビデ！あなたはサウロの手によって死ぬことはない。あなたは王になるのだ。」「望みを捨てるな！」「だた、信じなさい！」これが、イエスが仰ったことです。これが、神の働きなのです。その働きへと導くのは信仰であり、私たちが信じるように導くのは信仰です。「ただ、信じなさい。」

私が告白しなければならない事の一つは、最近、主が本当に、私に罪を示している事です。特に、私が祈りの課題のリストに 目を通していく時です。ところで、16ページの祈り課題があります。1ページに二列ずつ。私たちは16ページもの祈りのリクエストがあります。この教会の人々と、オンラインチャーチの人々の両方からです。これらの祈りのリクエストを見ていくと、多くは、癒しの必要な人々のためのものです。ステージ4の癌、また、愛する人の救いのための祈りのリクエストがたくさんあります。私がこれらの祈りのリクエストに沿って祈っていた時、主が、ただ優しく... 彼はいつもとても優しく、その事に、とても感謝しています。主は厳しくするのではなく、ただ、とても優しく、なんと云うか、ただ、聖霊の静かな声で、私の心の扉をノックするような感じです。そして、それは質問でした。「わたしは彼らを癒すことができると、あなたは信じるか？」

私たち全員が「はい、信じます！」と言うでしょう。「本当に？」「あなたは本当に信じているか？」

「あなたは本当に、信仰によって、神はどんな事でもできると信じているのか？」

「主にとって、何か難しいものがあるか？」一でも、主よ。私の今の状況は、本当に酷いんです。

「知っているよ。」これが私たちが... 「でも (but)」をまたしても 不適切なところへ入れてしまって申し訳ありませんが、「私は神にはすべての事が可能だと知っている。でも...！」

「でも...これはすごく辛くて、本当に悪い状況に見えて...」 「私は希望を失いかけている。」

それでは逆です。「そうです、状況は本当に辛い。この試練は本当に困難だ。」 「でも！」

「神は、彼にしか出来ないやり方で、その悪いことから 良い事を引き出すことが出来る。」言い換えると、神が最終決定を握っているのです。もしあなたが、「でも」を間違った場所へおこなら、あなたは、あなたを希望のない絶望へと導く試練に、最終決定を下させることになるのです。

「ええ、私は神が良い方だと知ってる。」 「主には、難しい事は何もないと知ってる。でも...！」

あなたは、あなたに希望を失わせているその試練や困難に、最終決定権を与えることは出来ません。

神が最終決定権を握っているのです。そして神は、あなたに神の言葉（約束）をくださっているのです。

神はあなたが経験しているすべての良くない事を働かせて、結果的に良い事にしてくださるのです。

私が思うに、私たちの問題は、私たちが「良いこと/益」を、間違っただけで定義することです。

私たちの定義は... いいでしょう、ローマ8章28節です。

ローマ8

28神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。

では、あなたの「益/良いこと」の定義は何ですか？ 今までに、もしかしたら自分の良いことの定義と、神の定義とは同じではないのかも知れないと、立ち止まって考えた事はありますか？ 神の「良いこと/益」の定義が何であるか知っていますか？ それは、私たちがさらにイエスと似た者に造り変えることです。私たちがさらにへりくだらせ、さらに憐み深く、もっと親切で、優しく、善に溢れ、忍耐強くさせることです。おお、なんと、これって ガラテヤ5章に書かれている聖霊の実とすごく似ていませんか？ 言うならば、これが、「良い実」であり、神が私たちの人生において、成し遂げ、結ばせたい実なのです。私たちが... 他の道はないのです！ 近道があればと願いますよ。もしくは、実際に私が本当に願っているのは、私たちがテレビのCMで、医者に尋ねてみるべきだという新しい薬のCMを見る時、副作用がいっぱい並べられてるやつです。わかりますよね。

「私は『GOOD-X (良薬)』 (薬名) が出るのを待っているんです。」 薬名は何でも良いのですが...

「GOOD-ILL (良錠)」 —この錠剤を飲めば、全て良くなる— そんな事は起こりません。それは困難の中に、また、困難を通して働くのです。そこから希望が生まれるのです。試練を忍耐することによって。そこから信仰が生まれるのです。これが、神の働きなのです。「ただ、信じること。」

次のように締めくくりたいと思います。もしかしたら、あなたはとても困難な状況の中、今朝ここに居るのかも知れません。とても苦痛な試練の中で。そしてあなたは、本当のところを言うと、希望を失いかけています。私は皆さんを励ましたい。絶対に、絶対に、絶対に、あきらめないで下さい。

そのうちに分かりますから。ただ待ってください。あなたはいつか分かるから。ダビデが言ったように... 彼はこう言っていたようなものです。

「ただ待ちなさい。」 「私にはあなたの気持ちが分かる。」

「私はもうちょっとで諦めるところだった。もうおしまいだと思っていた。」

「でも...」 「神が私に約束してくださり、私に御言葉をくださった。」 「神はご自身の言葉を取り消すことは出来ない。」 「何があるかと、主は私の益のために、それをともに働かせてくださる。」

「私は生ける者の地で、主のいつくしみを見る。」

これが、神がくださった、あなたと私への約束なのです。決してあきらめないで下さい。敵にそれをやらせてはいけません。敵はあなたの頭に、思いを入れて来ます。そして、あなたはそれらの思いを温め始め、危険な

筋書きを作り始めるのです。

「もしこうなったら？」 「どうなるんだ？」 「どうするつもりだ？」 神はあなたに恐れ of 霊を与えていません。力と愛と慎みの霊を与えてくださっているのです。

祈りましょう。天のお父様、感謝します。あなたの私たちへの御言葉を感謝します。

私たちへのあなたの約束を感謝します。どんな悪い状況になろうとも、あなたに感謝します。

あなたがいつも良い方であることは、絶対に変わりませんから。今日、失望し、疲れている人々のために祈ります。主が、彼らの心を励ましてください。

彼らが善を行なうのに飽きませんように。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることになるのを覚えて。主よ、感謝します。

イエスの御名によって、アーメン。

メッセージby JD Farag

牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記hukuinn7